

新聞を教材とした日本語上級

田村 泰男

0. はじめに

「長年、日本語を勉強してきたのに新聞が読めない」という話を留学生から聞くことがよくある。このことはなにも留学生だけに限ったことではなく、我々日本人が英語なりフランス語なりの外国語で書かれた新聞を読んでも同じことが言えるのではないかと思う。新聞を読むことが学校教育の中で学習した文章を読むのと同じようにいかないのは、ある意味では当然のことかもしれない。日本語教育で用いられる教科書は外国人を対象にして作られているのであるから学習者に対する配慮がそこにあるのに対して、新聞は日本人が読むという前提の下で書かれているのであるから、外国人にとって難解な文章であるのもいたしかたない点であろう。加えて新聞には、限られた紙面で、視覚的に多くの情報を伝えるという物理的な制約があり、他の表現手段に比べると、文体的にも、語彙的にも、文法的にも、濃縮された言語表現であるため、これを正しく理解するためには特別の訓練・練習が必要であるように思われる。

これらのことを考慮に入れて、筆者は今年実際に日本語上級クラスで新聞教材を取り入れて授業を行ってみた。本稿ではその実践報告を行うとともに、新聞の教材としての可能性・教育効果を考えてみたいと思う。

1. 授業設定

新聞教材を用いた授業は、平成5年度筆者の担当した日本語上級Ⅳのクラスで行った。学習者の構成は、次の通りである。

前期：学部生6名、日本語・日本文化研修生11名、研究生2名

後期：学部生6名、日本語・日本文化研修生9名、教員研修生3名

大学院生1名、研究生4名

学習期間及び時間数としては、前・後期それぞれ15週、1週1コマ（＝90分）で行った。

2章・3章に示す資料は平成5年度の4月から1月にかけて行った授業のものである。

2. 教材

教材として用いた記事は朝日新聞の朝刊から選んだ⁽¹⁾。記事の内容としては、時事問題（日本の国内問題や日本が大きく関わっていると思われる国際的な問題）、日本の生活歳時記に触れられるもの、留学生にとって身近な・関心の高い問題についての書かれたものを選ぶように心がけた。また、特定の国を非難・中傷することにならないように注意をして記事を選び、教材を作成した⁽²⁾。

新聞は「読む」ために書かれた文章であるので、学習者側において受け身的な理解に終わらぬように、選んだ記事に練習問題を付け、横書きにタイプしなおして授業の一週間前に配布し、予習を義務づけた。練習問題は、語彙に関するものを中心に出题し、文解釈に関するものも加えた。

2. 1 教材に用いた記事とその内容

教材として用いた新聞記事の内容は次の表の通りである。

No.	教材名	内容
1	にせ1万円札	日本国内におけるにせ札の歴史やにせ札を使った犯罪のタイプを説明しつつ、最近のにせ札事件の特徴について述べた記事
2	不況	不況の中でスタートとした就職戦線で、大卒の採用を控える企業側と焦る学生側について述べた記事
3	人気集めた「近い・安い」	不況の中の大型連休は、「近くて安い」に人気が集まったことや連休期間中の交通事情について述べた記事
4	PKO（社説）	邦人の死傷者を出したカンボジアでのPKO活動について、国際貢献の立場から、その存在意義を問うた記事
5	無認可保育所	女性の社会進出で子育ての環境を整備する必要から、厚生省も方針転換を迫られた無認可保育所についての記事
6	国際化進まぬ国立大学	「外国人教員任用法」が制定されて十年後の国立大学での教員任用の現状と課題を述べた記事
7	天声人語(1)	「水」をテーマに、「水」を用いた慣用語や「水」と日本人、自然と人間との関わりについての述べた記事
8	乾電池一コから出前します	ある家電量販店が不況に対する窮余の策として始めた品物の「配達制度」について述べた記事
9	飽食日本のコメ緊急輸入	日本のコメ緊急輸入や世界のコメ貿易市場の話題を中心に、世界の中での日本とコメについて述べた記事
10	さよならはみ出し	公道をはみ出した自動販売機に対する市民、行政、メーカーの対応について述べた記事
11	お年寄りの知恵袋	一人暮らしのお年寄りが持つ知恵、特に健康を守るために日々実践している工夫について述べた記事
12	大学生の暮らし	今の大学生の生活を、暮らし向き、生活費や持ち物の面から述べた記事
13	受験生の関心	就職難の現在、就職を睨みながら大学を選択しようとする受験生とそれに対する大学側の対応について述べた記事
14	風邪	風邪をひいたときの対応の仕方や風邪薬の効果について、専門医の立場から述べた記事
15	学生諸君！！ズルはダメ	早大社会科学部が試みている「定期試験廃止」に対する学生側の対応や大学側の取り組みについて述べた記事

2. 2 導入した語彙・表現に関する項目

次にあげる表は、授業において導入・説明を行った語彙項目及び表現をまとめたものである。ただし、漢字の読み・書きについては、次の2：3であげる。

表の上段は、本文中に出てきた語彙・表現のうち、留学生にとってやや難解と思われるものや接辞、補助動詞の類で、授業で考察を加え、用例・類例等を提示したものである。ただ、ここで語彙・表現を全部提示してもきりがないので、授業の中で主に扱ったものだけをあげることにする。下段は、意味をたずねるといいう形で、実際に設問として出題した語彙や慣用句をあげたものである。

No.	教材名	導入項目
1	にせ1万円札	新聞の語彙の特徴、畳語、同訓異字（上る／登る／昇る、良い／善い etc.）、～分（今年分、人の分、この分なら etc.）
		枚挙にいとまがない、迷宮入り、一獲千金
2	不況	反意語・対語（鋭い／鈍い、好調／不調、権利／義務 etc.）、～つける（やりつける、叱りつける、義務づける etc.）、～込む（買い込む、頼み込む、思い込む etc.）、～系（日系、技術系、文科系 etc.）、最～（最大、最高、最小 etc.）、～ものの、～ばかり（で）、～一方（で）、～おかげ（で）
		背に腹は代えられない、軒並み
3	人気集めた「近い・安い」	類義語（感う／戸感う、珍しさ／物珍しさ etc.）、～中（勉強中、期間中 etc.）、やや／若干／幾分／少し
		Uターンラッシュ、すし詰め、呼び物、大入り、つばぜり合い、軍配が上がる
4	PKO（社説）	接頭辞（不、無、非）、類義語（平和／和平、議論／論議 etc.）、～かける（呼びかける、消えかける、読みかけた etc.）～上げる（書き上げる、練り上げる、読み上げる etc.）、～まい、～べきだ、～までもない、～ざるをえない、～うる、～はずだ、～ながら
		やむをえない、死力を尽くす、闇雲に、丸腰で
5	無認可保育所	～ため／～ので／～から
		お墨付き、息抜き、融通がきく、なおざりにする
6	国際化進まぬ国立大学	反意語・対語を並べた二字熟語（高低、左右、公私 etc.）、～にすぎない、～外／～内（時間外／内、学外／内 etc.）、～上（運用上、教育上、都合上 etc.）、～化（マンネリ化、国際化、民主化 etc.）、～あまり（10年あまり、50名あまり、悲しみのあまり etc.）

7	天声人語(1)	条件表現 (なら、たら、ば、と、ても)、まさに～なみの～、～ないし～、NらしいN/NみたいなN/NのようなN
		ばかにならない、けた違い、水をさす、水に向ける、水に流す、水を打ったよう、水ももらさぬ、湯水のように使う、ふんだんにある
8	乾電池一コから出前します	清濁で意味の変わる漢字 (大手・おおて/おおで、尾鱈・おひれ/おびれ etc.)、～出す (動き出す、食べ出す、ひねり出す etc.)、～でも (ビールでも飲もう、子供でもわかる etc.)、～のほか、～に応じて、～とはいえ
9	飽食日本のコメ緊急輸入	短縮語 (農水省、需給 etc.)、～難 (食料難、住宅難、就職難 etc.)、～たりとも、～によっては
		肩身が狭い、ダメ押し、ひしめく、先駆け、はずみがつく、過当競争、利が薄い、命運がかかる、歩調を合わせる
10	さよならはみ出し	同音類義語 (意思/意志)、～がち、～ても
		ゆうに、取りざたされる、唐突さ、黄信号がともる、あらかじめ
11	お年寄りの知恵袋	美化語 (お酒、ご挨拶 etc.)、～取る (読み取る、学び取る、聞き取る etc.)
12	大学生の暮らし	～振り (暮らし振り、食べっぷり)、代/賃/費/料、～しかない、～始める/続ける/終わる
		目につく、目立つ
13	受験生の関心	接尾辞「さ」「み」 (強さ/強み、深さ/深み etc.)、「問」/「門」 (部門、疑問 etc.)、～かもしれない、～方 (食べ方、書き方、etc.)
		短絡的
14	風 邪	大～ (大多数、大部分、大先生、大人物 etc.)、～かねない、～にくい/がたい/ずらい/やすい、～ (ない) うちに、～とか～、～たり
15	学生諸君!!ズルはダメ	～切る (読み切る、言い切る、弱りきる etc.)、～ながらも、～上 (気持ちの上で、研究する上で、酒の上 etc.)、～通り (思った通り、時間通り、計画の通り etc.)
		丸暗記、勝手が違い、口をそろえる

なお、擬態語・擬声語の類はあまり現れず、次のものを導入したにとどまった。

「じっくり」「どっと」「にんまり」「のろのろ」「じわじわ」「どンドン」「がらがら」「がらり」

表からわかるように、限られた時間ではそれほど多くの表現や語彙を導入できるわけではない。従って、導入にあたっては、重要なもの、使用頻度の高いものを優先的に扱っていくのはもちろんだが、その際、類義語や関連語句を積極的に紹介する必要もあるだろう。加えて造語能力の高い接辞や補助動詞等を体系的に指導していく必要性も感じる。

2. 3 漢字の読み・書き

次の漢字リストは問題として出した漢字を書き出したものである。「書き」の問題は、二字の漢字熟語をを中心に、「読み」の問題は、訓読みを中心に出题した。また、「もうける」「とおる」における「う」と「お」、 「あずかる」「ねづく」における「ず」と「づ」のように実際の発音は同じでも表記の異なるものや、促音を含む熟語（さっとう、あっか）なども出题した。なお、連濁については主に教材を読んでいく際に取り上げた。

漢字リスト

(1) 「にせ1万円札」		
漢字	読み	
水準 機能 通過 世間 経営者 発生 分類 素朴 分析 着目	しへい（紙幣） じふ（自負） ないぞう（内蔵） りょうがえき（両替機） しんわ（神話） くずれる（崩れる） かんい（簡易） ぎぞう（偽造） おうこう（横行） きょっけい（極刑）	さわがせる（騒がせる） けいさい（掲載） こんきゅう（困窮） もうひつ（毛筆） きわめて（極めて） せいこう（精巧） かんてい（鑑定） ざった（雑多） かんし（監視） ゆるい（緩い）

(2) 「不況」		
漢字	読み	
再認識 実績 象徴 損失 検討 維持	選考 慎重 指摘 警備 割合 中堅	きざし（兆し） あせり（焦り） かまえる（構える） しぼる（絞る） こんしゅん（今春） ふくめる（含める） こわす（壊す） ぞくしゅつ（続出） わく（枠） しょくぎょうあんていしょ（職業安定所） とどける（届ける）

閉鎖 公表	指導	けいじょう (計上) かくほ (確保)	とる (採る) さいおおて (最大手)
----------	----	------------------------	------------------------

(3) 「人気集めた 近い・安い」			
漢字		読み	
収容 周囲 臨時 路上 解放 公開 現場 運航 首位攻防戦 不振	暦 在来線 改正 低迷 要因 移転 影響 従来 付近 方面	ひとで (人出) おとずれる (訪れる) きせい (帰省) ひかえる (控える) さっとう (殺到) たりる (足りる) あきち (空き地) せいきょう (盛況) じゃっかん (若干) りょうじつ (両日)	どういつ (同一) じつに (実に) とうじょう (登場) じゅうたい (渋滞) ぎょうれつ (行列)

(4) 「PKO」					
漢字				読み	
殺害 死傷 疑問 主張 感情 残念	人的 状況 視点 治安 和平 保証	自体 直視 方策 改善 違反 配慮	放置 健全 提案 意思 柔軟 円滑	あたい (値) ひきょう (卑怯) ゆれる (揺れる) かんじん (肝心) むだ (無駄) あっか (悪化)	ざんてい (暫定) のぞむ (臨む) うったえる (訴える) あらためる (改める)

(5) 「無認可保育所」				
漢字			読み	
導入 格好 関連 基づく 程度 充実 将来	措置 融資 課題 保母 援助 宿泊 判断	多様 延長 拡充 安易 認知 危険	ともばたらき (共働き) すけっと (助っ人) せまられる (迫られる) せっち (設置) もうける (設ける) いたる (至る) みこみ (見込み)	たっする (達する) あいつぐ (相次ぐ) およぶ (及ぶ) あずかる (預かる) ねづく (根づく)

(6) 「国際化進まぬ国立大学」				
漢字			読み	
契約 実情 現状	普遍的 制定 同等	特徴 学閥 人脈	し (せ) こう (施行) はっくつ (発掘) ついで (次いで)	わたす (渡す) あやぶむ (危ぶむ) たいはん (大半)

体制 状態 人材 形成 見解	終身 雇用 運用上 以降 機関	意識 実効性 趣旨 体質 打破	さんかく(参画) ほんらい(本来) あつかって(扱って) ちがって(違って) しめる(占める)	かぜとおし(風通し)
----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---	------------

(7) 「天声人語(1)」				
漢字			読み	
蒸発 仮定 傘 地域 登場 想像	成果 労苦 意味 平均 範囲 分類	威力 警戒 痛感 激動	たいらな(平らな) じめん(地面) あまみず(雨水) いる(要る) そうとうな(相当な) こうすいりょう(降水量)	じょうりく(上陸) ふんか(噴火)

(8) 「乾電池一コから出前します」				
漢字			読み	
消耗 深刻 不振 高額	延長 掃除機 原則 実施	規模 担当 徒歩 範囲	かんでんち(乾電池) さいおおて(最大手) けいこうとう(蛍光灯) ながびく(長引く)	とどける(届ける) あてる(充てる) こまかな(細かな) かく(欠く)

(9) 「飽食日本のコメ緊急輸入」				
漢字			読み	
貴重 外貨 穀物 匹敵 突然 要因 大歓迎 過剰 程度 影響	負担 不順 苦悩 事態 後継者難 放棄 衰退 開放 阻止 移行		めいがらまい(銘柄米) みまわれる(見舞われる) こえる(超える) おどりでる(躍り出る) しめる(占める) こうとう(高騰) はねあがる(跳ね上がる) へいせい(平静) はたさく(畑作) つらぬく(貫く)	ひとつぶ(一粒) そうほう(双方)

(10) 「さよなら はみ出し」				
漢字			読み	
主要 追放 消費者	対処 具合 報告		いっそう(一掃) あらためる(改める) てっきょ(撤去)	こす(超す) まかせる(任せる) さがす(探す)

請求 違反 解消	普及 内情 意思	こんねんどまつ (今年度末) ふくめる (含める) こんしゅん (今春)	おそれ (恐れ) じしゅてき (自主的) もりこむ (盛り込む)
----------------	----------------	--	--

(11) 「お年寄りの知恵袋」				
漢字			読み	
改善 体操 増進 調査 編集 集約	補給 脂肪 回答 保持 睡眠 圧倒的	障害 解釈 近隣 統出	ひびき (響き) ただよう (漂う) つちかう (培う) くふう (工夫) ひかえめ (控えめ) さける (避ける)	つとめて (努めて) なつかしい (懐かしい) ほっそく (発足) もよおし (催し) まねく (招く) りっぱ (立派)

(12) 「大学生の暮らし」				
漢字		読み		
家計簿 影響 快適 節約	各種 動機 保有 急激	さくしゅう (昨秋) がっしゅう (合宿) しのびよる (忍び寄る) にゅうきょしゃ (入居者)	のぞく (除く) おもな (主な) ぶっぴん (物品) そなえつけ (備え付け)	

(13) 「受験生の関心」				
漢字			読み	
取得 検討 建設 吸収 評価 顕著	景気 哲学 担任 豊富 準備 選択	指導 実績 発行 分析	とうぶん (当分) ちょっけつ (直結) たずねる (尋ねる) しゅうばん (終盤) あっとうてき (圧倒的) じんみゃく (人脈)	とまどい (戸惑い) のる (載る)

(14) 「風邪」				
漢字		読み		
卵 対面 側 予備 売上額 規模	防御 消耗 苦痛 感染 肺炎 補助的	ことにする (異にする) ほうって (放って) なおる (治る) つらぬく (貫く) やわらげる (和らげる) きく (効く)	しょほう (処方) しょうじょう (症状) げねつざい (解熱剤) ちゆ (治療) そなわる (備わる) みずから (自ら)	

(15) 「学生諸君！！ズルはダメ」				
漢字			読み	
登録	奔走	言葉	こころみる（試みる）	くふう（工夫）
光景	模範	吸収	さます（覚ます）	おこたる（怠る）
驚く	従来	批判	はたして（果たして）	なげく（嘆く）
随時	分散	廃止	うまる（埋まる）	せいきょう（盛況）
緊張感	課す	限度	ふれる（触れる）	とっば（突破）
解説	私語	履修	はげむ（励む）	
先輩	在籍		もうける（設ける）	

2. 4 教材及びその導入の一例⁽³⁾

ここでは、「風邪」という教材を見てみよう。

「風 邪」

風邪をひいたら、どうします？専門を異₍₁₎にするいろいろな医師に聞いてみた。

「あきらめて、ひどくならないうちに安静を保つ」が大多数。「寝る前にたまご₍₂₎酒を」とか、「ふとんを十分温める」と付け加えた人はいても、「薬をのむ」という答はほとんどなかった。放₍₃₎つておいても、風邪は三、四日くらいで治₍₄₎る、というのである。

しかし、医師も患者とたいめん₍₅₎すると、なかなか、その方針を貫₍₆₎きにくいものようである。風邪をひいて病院や医院へ行くと、たいていは何らかの薬が出る。

「たかが風邪にこんなに」と思うほどの量になることがある一方、何も出ないとかえって不安になったりするのも事実。患者のがわ₍₇₎も、風邪の薬についてのよび₍₈₎知識が必要なようである。

まず、くすり屋さんで買う薬。

市販されている風邪薬だけで、千三百種類もあるといわれる。年間うりあげがく₍₉₎が六百億円強。ドリンク剤に次ぐ市場きば₍₁₀₎だ。

その多くは、熱を下げる成分、せきやたんをとる成分、頭痛を和らげる₍₁₁₎成分などを配合した対症療法薬である。大部分の風邪の病原体であるウイルスに対して効₍₁₂₎くものではないから、極論すれば₍₁₃₎、こうした薬で風邪が治ったと思っても、実は、治る時期が来ていただけのことだ。

医師が処方₍₁₄₎する薬も、基本的には市販薬と同じである。ただし、配合の決まっている市販薬と違い、症状₍₁₅₎に合わせて成分を組み合わせられるから、それだけ効果は期待できる。

その中で、高熱を出すインフルエンザなどの風邪によく処方される解熱剤₍₁₆₎については、議論がある。

熱が下がれば、確かに気分はよくなる。しかし、熱はウイルスに対するぼうぎょ_{kyo}反応であることがわかっている。ウイルスは熱に弱い。だから、人の体は熱を出して、増殖を防ぐのだ。

つまり、熱を下げることは、ウイルスの勢いに手を貸すことになりかねない。実際に、インフルエンザになった動物に強力な解熱剤を与え続けたら、病気がどんどん悪くなったという実験結果もある。

「解熱剤で熱を下げて仕事を続けるのが、とにかく最悪」と沼崎義夫・国立仙台病院臨床研究部長。「熱が下がったのを、風邪が治ったと思ひ込むと、症状がさらに悪くなる。むしろ、熱は治癒_{ryu}への早道と考えてほしい」という。

「解熱剤は必要ないとまでは一概にいえない_o」という立場をとる加地正郎・呉共済病院院長にしても、「体のしょうもう_{mu}が激しい場合、くつう_{mu}がひどい場合などに使えば十分だろう」という。最後は、抗生物質。これは、くすり屋さんでは売っていないから、医師に処方してもらうことになる。細菌やマイコプラズマと違って、ウイルスには抗生物質は効かない。効果があるとしたら、細菌が二次的にかんせん_{mu}して起こるはいえん_{mu}や中耳炎の予防ということになるが、欧米での報告によると、その効果もかなり疑わしいらしい。

風邪の症状は軽くできても、風邪を根本的に治す薬はごく一部の風邪を除いてはない。風邪を治すのは、あくまでも体に備わった_{mu}ぼうぎょ能力である。

仕事や勉強のことは忘れて、一に安静、二に安静。薬は使うにしても、ほじょてき_{mu}な手段一多の医師たちが自ら_{mu}の風邪に対してとっている手段は、さすが、風邪の専門家たちの目からみても、当を得た_oものといえるようだ。

[設 問]

1. 下線部(1)～(12)の読み方をひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| (1) _____ | (2) _____ | (3) _____ | (4) _____ |
| (5) _____ | (6) _____ | (7) _____ | (8) _____ |
| (9) _____ | (10) _____ | (11) _____ | (12) _____ |

2. 下線部(A)～(L)を漢字になおしなさい

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (A) _____ | (B) _____ | (C) _____ | (D) _____ |
| (E) _____ | (F) _____ | (G) _____ | (H) _____ |
| (I) _____ | (J) _____ | (K) _____ | (L) _____ |

3. ~~~~~ 線部①～③の意味を書きなさい。

- ① _____

②

③

4. 次の文中の () の中に本文中より適当な言葉を選んで入れなさい。

- [1] () 課長になったぐらいで、喜んではいけない。
() 社長を目指しなさい。
- [2] 彼は天才というよりは () 努力家だ。
- [3] 雨が降らない () 早く帰ろう。
- [4] 昼ご飯を食べないと () 太ってしまった。
- [5] 財布の中には、() わずかしかお金が残ってない。
- [6] 父の兄、() おじは、医者をしています。
- [7] みなさんは () 広島大学の学生だけあって、頭がいいですね。

次に授業の進め方であるが、次のような手順で行った。

- [1] 教師が、連濁、促音、長音等に注意しながら、ゆっくりと一度読む。
学生を指名して四、五行ずつ読ませる。
注意すべき発音の語彙や学生の発音しにくかった語彙について「かな」で板書し、
発音の確認を行う。
もう一度学生に四、五行ずつ読ませる。

発音上特に注意した語彙

たまござけ、かぜぐすり、ほうって、いっぽう、ぶっしつ
つらぬく、しじょう、やわらげる、きく、げねつざい、ちゆ、こんぼんてき

- [2] テキスト中に多くの病気に関する語彙が出てくるので、それについての教師が説明
を行う。

せき、たん、対症療法薬、病原体、ウイルス、処方、症状、解熱剤、臨床、治療、
抗生物質、細菌、マイコプラズマ、感染、肺炎、中耳炎

- [3] 教材を読み進めながら、下記の表現や語彙に説明、類例等を加え、意味をとって
いく。その際、適宜学生に質問をし確認を行う。

～を異にする (cf. ～の違う、eg. 意見／考えを異にする)

～ないうちに (cf. ～する前に)

大多数、大部分 (cf. 大先生、大人物)

～とか (cf. ～や～、～など、eg. 日本語とか中国語とか。旅行するとか言ってきました。)

温める (cf. 暖める)

付け加える (cf. 付け足す、加える)

ほとんど～ない (cf. 少し～ある、少しも～ない)

放って (eg. 勉強を放って (=①途中でやめて③しないで)、テレビを見た。)

治る (cf. 直す)

なかなか (=①ずいぶん、とても eg. 彼女はなかなか美人だ。

=②簡単には、すぐには eg. なかなかバスがこない。)

貫く (cf. ～通す)

～にくい (cf. がたい、ずらい、やすい)

たいてい (cf. 多くの場合)

何らかの (cf. 何かの)

一方 (cf. 他方)

たかが (cf. たかだか、せいぜい)

かえって (cf. それどころか、むしろ、反対に)

～たり (eg. 見たり聞いたり、そんなに飲んだりして)

側 (cf. 方)

予備 (= 予め (前もって) 備える、cf. 予報、予約、予測)

市販する (cf. 販売する、売る)

売上額 (cf. 金額、多額、総額)

次ぐ (cf. 継ぐ)

和らげる (cf. 軽くする)

配合する (cf. 混ぜ合わせる、組み合わせる)

効く (cf. 効果がある)

極論 (cf. 極端、極力、極度)

実は (cf. 本当は)

ただし (cf. しかし)

それだけ (cf. その分)

防御 (cf. 守る、防ぐ)

増殖 (cf. 増える、殖える)

つまり (cf. 手短に言えば、すなわち、言いかえれば)

手を貸す (cf. 助ける)

～かねない (cf. ～かもしれない、～とは限らない)

とにかく (cf. どちらにしても、何はともあれ)
思い込む (cf. 考え込む、黙り込む、冷え込む)
さらに (cf. 一層、もっと)
むしろ (cf. どちらかというと)
早道 (cf. 近道、回り道)
一概に (cf. 簡単に、一般的に)
立場をとる (cf. ～の考えである)
ごく (cf. ほんの、eg. ごく親しい人、ごくまれな)
～を除いて (cf. ～を別にすれば)
あくまでも (最後まで、何があっても)
補助 (cf. 援助、応援、支援)
さすが (eg. この暑さではさすがに参る。一人暮らしはさすがに寂しい。)
当を得た (cf. 的を得た)

[4] 設問の箇所を学生に当てながら行う (漢字は板書させる)。

[5] 学生に教材の内容を要約させ、最後に教師がまとめる。

これは授業の進め方の一例であるので、さらに学習効果の上がる進め方が他にもあるであろう。例えば、本文中に出てくる語彙や表現を使った (部分) 作文のようなものや「です」/「ます」体にかえて読ませるといったようなやり方を取り入れたら、もっと学習効果が上がるかもしれない。しかしその一方で、新聞教材の場合、口語ではあまり用いない語彙や文章語独特の言い回しが随所に出てくるという特徴を持つ。そのため、多くの時間を語彙の意味解釈に割くことになり、題材の知識や背景についての導入が必要となる場合も多くある。授業は、これらのことを踏まえたうえで、学習者の語彙力や授業の時間数なども考慮にいれ、より効果的に運営していく必要がある。

3. まとめ

新聞教材のいいところは、その内容が今の社会情勢なり、今の物の考え方なり、を反映している点であろう。そのため、学習者にとっては関心を持ちやすく、また中に入っているやすい題材である。いわゆる「つかみ」の部分具备了教材と言える。しかしその一方で、新聞記事は我々が日常使っている口語と大きくかけ離れた語彙、表現、スタイルを持つことが多くある。外国人が新聞をむずかしいと思う理由はこの点であろう。内容的な面

では入っていきやすいのだが、言語面で取っ付きにくい。新聞を教材として使っていくためには、当然この言語面での問題を解決していかなければならない。それには、やはり、精読が必要となろう。題材の背景を理解したうえで、細かく読み進めていくのである。これを、限られた時間の中で、いかに効率的に行っていくかが、今後の課題となろう。本稿を出発点として今後とも、新聞という教材について考えていきたいと思う。

注

(1) 使用した記事は次の日付のものである。

「にせ1万円札」	平成5年4月20日
「不況」	同上
「人気集めた近い・安い」	平成5年5月7日
「PKO」	平成5年5月12日
「無認可保育所」	平成5年5月30日
「国際化進まぬ国立大学」	平成5年5月12日
「天声人語(1)」	平成5年9月4日
「乾電池一コから出前します」	同上
「飽食日本のコメ緊急輸入」	平成5年10月6日
「さよならはみ出し」	平成5年10月1日
「お年寄りの知恵袋」	平成5年10月13日
「大学生の暮らし」	平成5年11月24日
「受験生の関心」	同上
「風邪」	平成5年12月19日
「学生諸君！！ズルはダメ」	平成6年1月12日

(2) 最近では、「韓国人窃盗団」「中国人の大量密航」などの事件があったが、これらの記事は当然ながら、教材としては用いにくい。

(3) 「風邪」以外の教材例として「PKO」と「飽食日本のコメ緊急輸入」の二つをあげておく。

〈教材例1〉

「これではPKOは（ ）」

カンボジアで流されている世界の若者の汗と血は、そこに住む人たちのために役立っているのだろうか。それは本当に国際貢献の名に値₍₁₎するのだろうか。

カンボジアで、邦人ボランティアがさつがい₍₂₎され、文民警察官五人がししょう₍₃₎した事件は、こんなぎもん₍₄₎を多くの日本人に投げかけている。

いま日本には、血を流すのはやむをえない₍₅₎、だから現地から引き揚げるな、という意見がある。一方で、死者を出してまでとどまることはない、とするしゅちょう₍₆₎がある。多くの国民は、これ以上の犠牲はごめんだというかんじょう₍₇₎と、世界から卑怯₍₈₎と言われることを恐れる気持ちの間で、揺₍₉₎れている。

私たちの中にもこれに似た悩みがある。ただ私たちは、血を流すかどうかを議論の出発点にしたのでは実りある結論は得られない、と考えている。

国際貢献には、ざんねん₍₁₀₎ながらじんてき₍₁₁₎犠牲をとまらなう場合がありうる。ただ肝心₍₁₂₎なのは、

何のために、誰のために、死力を尽くす_mかである。さらに忘れてならないのは、現地のじょうきょう_mとタイミングだ。国際貢献の美名のもとに、ただ闇雲_mに人命を無駄_mにしているものではない。

そういうしてん_mでカンボジアの現状を見たらどうなるか。

ちあん_mの悪化_mで、国連カンボジア暫定_m行政機構（UNTAC）以外の国連各機関のスタッフは、各駐在先から首都プノンペンに一時避難するという。こうした事態を見るまでもなく、現地の事情は、カンボジアわへい_mの枠組みを決めたバリ協定当時とは、大きく変わったと言わざるをえない。

ポル・ポト派の（①）道さには世界が怒っている。いまやカンボジアに安全のほしょう_mなどどこにもない。そんなところに、人命を犠牲にする確度が（②）常に高いやり方で臨む_mのがいいとはとても思えないし、正しい国際貢献ともいえない。

その意味で、UNTAC じたい_mが事態をちよくし_mし、ほうさく_mの再検討を急ぐよう希望する。ひとり日本から派遣された人だけの問題ではないからである。

同時に私たちは、日本の文民警察官派遣について、政府の（③）手際を指摘するとともに、事態のかいぜん_mを強く求めたい。

派遣されている文民警察官たちが村田自治相に口々に訴_mえた話を聞いて、あまりのひどさに驚いた人が多かっただろう。食料も水も（④）自由なところで、武力攻撃におびえながら彼らは文字通り丸腰で配備_mについていたのである。

これは明らかに約束いはん_mではないか。彼らの任務は現地の警官の指導などに限られていたはずだ。それに、自衛隊以上に安全面にはいりよ_mされて当然だった。

これをほうち_mして「国際貢献だから、これまで通り任務を遂行せよ」というのでは（⑤）責任である。これでは将来の日本の国連平和維持活動（PKO）は決してけんぜん_mに育つまい。改_mめるべきは、改めることだ。

そのために、次のことをていあん_mしたい。

- 一、全文民警察官をプノンペンに集め、本人のいし_mを再確認する。
- 二、帰国希望者は、（⑥）差別、（⑦）条件で、早急に帰国させる。
- 三、残留者の安全のため、移動の際の護衛のあり方などについて UNTAC との協議を続けるほか、万一の場合の避難、引き揚げなど、じゅうなん_mな対応を、認めさせる。
- 四、こういう対応を臨機に、かつえんかつ_mに進めるため、現地に日本政府高官を常駐させる。

【設問】

1. 下線部(1)～(10)の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
(5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____
(9) _____ (10) _____

2. 下線部(A)～(X)を漢字になおしなさい

- (A) _____ (B) _____ (C) _____ (D) _____
(E) _____ (F) _____ (G) _____ (H) _____
(I) _____ (J) _____ (K) _____ (L) _____
(M) _____ (N) _____ (O) _____ (P) _____
(Q) _____ (R) _____ (S) _____ (T) _____
(U) _____ (V) _____ (W) _____ (X) _____

3. (①) ~ (⑦) に不・無・非のうちのどれか一つをいれなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____

4. ~~~~~ 線部(I)~(IV)の意味を書きなさい。

(I) _____
(II) _____
(III) _____
(IV) _____

5. この文章のタイトルとしてふさわしい言葉を「 」に書きなさい。

これではPKOは「 _____ 」

〈教材例2〉

「飽食日本のコメ緊急輸入」

きょうはコシヒカリ、あすはササニシキと、銘柄米₍₁₎を追い求めてきた飽食・日本が、戦後最悪のコメの凶作に見舞われた₍₂₎。輸入量はゆうに₍₃₎百万トンを超え₍₄₎、それで、日本は世界最大のコメ輸入国に躍り出る₍₅₎見通しだ。だが世界には、日本へのコメ輸出に期待する国ばかりではなく、コメ輸入にきちょう₍₆₎ながいか₍₇₎を使っている途上国もある。世界の中でのコメと日本を考えてみた。

世界のこくもつ₍₈₎貿易に占める₍₉₎コメの地位は低い。生産量は年間五億数千万トンと小麦にはほぼひって₍₁₀₎き₍₁₁₎するが、貿易量は約₍₁₂₎千四百万トン（精米ベース）で、生産量の四％にすぎない。それだけに、わずかな₍₁₃₎貿易量の変化で国際コメ相場は乱高下する。

主な輸出入国は表の通りだが、ここにとつぜん₍₁₄₎、世界一の輸入国が登場する。日本の輸入は、コメ国際相場の大変なく乱₍₁₅₎よういん₍₁₆₎なのだ。実際、日本の輸入が取りざた₍₁₇₎されて以降、低迷していたタイ米の国際相場は高騰₍₁₈₎し始め、一トン当たり二百五十ドルと、二週間で二十ドルも跳ね上がった₍₁₉₎。

主要な輸出国のタイは、だいかんげい₍₂₀₎だ。「コメがかじょう₍₂₁₎気味で価格が低迷していた。日本の輸入決定で、価格は下支えされる」という。米国も「コメを輸入するなら米国産も対象に」と要求している。日本は、仮に国際相場が二倍に高騰しても、まだ国内価格の三分の一ていど₍₂₂₎だから、気楽に₍₂₃₎買うことができる。

輸入国はどうか。世界の最貧国の一つのバングラデシュは「年によっては五十万トン近く輸入するが、日本の輸入するコメとは種類が違う。大きなえいきょう₍₂₄₎はないだろう」（在日大使館）という。今のところ、平靜₍₂₅₎な受け止め方が多いが、輸入国はアジア、アフリカの途上国が中心だ。

アジア経済研究所の重富真一研究員は「日本がどんなコメを買いにかにもよるが、国際相場は全体として上がる」と輸入国のふたん₍₂₆₎が増えるのは避けられない、と見ている。

さらに重富氏は「国際価格に引きずられて、国内のコメ相場が上がれば、タイでも、安いコメを食べられた都市部の貧困層や農村の畑作₍₂₇₎地域の住民は困るだろう。天候ふじゅん₍₂₈₎で値段が約二倍に高騰した六年前に現地に行ったことがあるが、彼らのくのう₍₂₉₎は大変だった。賃金水準を考えると、タイの人たちの生活費の中でコメに払っている分は、日本の二倍近い」と指摘する。

途上国への影響からも、日本は輸入をせず、あくまでも国内自給を貫く₍₃₀₎のがよいという意見が出るかも知れない。しかし、「一粒₍₃₁₎たりとも輸入しない」といっているが、いきなり₍₃₂₎国際市場に参入するという唐突さ₍₃₃₎こそが問われるべきだろう。

今回の大冷害がなくても、日本はいずれ、コメ輸入に追い込まれるじたい_mが予想されていた。生産農家の老齢化やこうけいしゃなん_m、十五万ヘクタールにまで広がった耕作ほうき_m地の存在など、国内自給政策にはすでに黄信号がともっているmからだ。

農水省_m内にも「国内農業のすいたい_mをどう食い止めるかが、国境に防波堤を築くより重要だ」と、コメ市場のかいほう_mそし_mという方針の非現実性を指摘する声がある。

一定量の国内生産を維持しつつ、豊作、不作にあわせて輸入を需給_mの調節弁として使うという柔構造へいこう_mすることが、むしろ日本の利益になるのではないだろうか。同時に、世界のコメ貿易市場にもあらかじめ_m、日本の存在を組み入れておくのが、輸出国、輸入国双方_mにとって安定した状態を保つのに役立つだろう。

【設問】

1. 下線部(1)~(12)の読み方をひらがなで書きなさい。

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
 (5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____
 (9) _____ (10) _____ (11) _____ (12) _____

2. 下線部(A)~(T)を漢字になおしなさい

- (A) _____ (B) _____ (C) _____ (D) _____
 (E) _____ (F) _____ (G) _____ (H) _____
 (I) _____ (J) _____ (K) _____ (L) _____
 (M) _____ (N) _____ (O) _____ (P) _____
 (Q) _____ (R) _____ (S) _____ (T) _____

3. 〰〰〰 線部(I)~(M)の言葉の意味を書きなさい。

- (I) _____
 (II) _____
 (III) _____
 (IV) _____

4. ~~~~~ 線部①②の同義語を文中から抜き出しなさい。

- ① _____ ② _____

5. ~~~~~ 線部③④はある言葉を短縮した語形です。もとの言葉を書きなさい。

- ③ _____ ④ _____